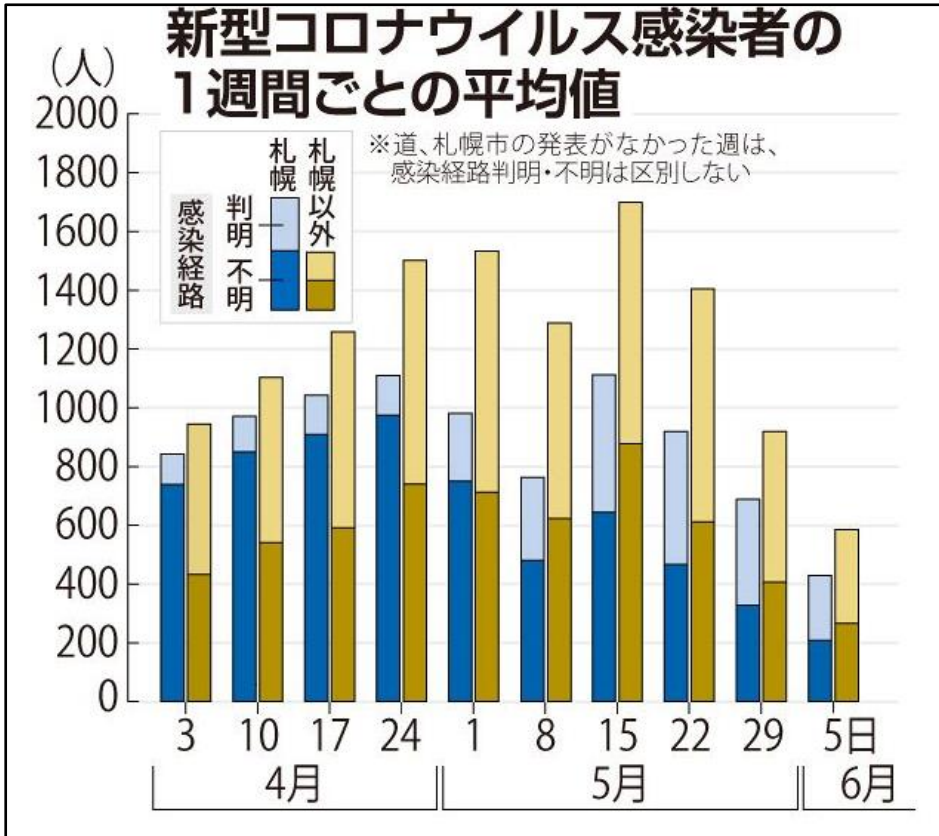


＜横田教授の「コロナ」チェック＞全道で数値改善、減少傾向鮮明 大規模イベントでの対策継続を 2022/6/6 北海道新聞



道内の直近1週間（5月30日～6月5日）の新型コロナウイルスの感染状況は、各数値が改善し、減少傾向が鮮明になりました。8日からは札幌でYOSAKOIソーラン祭りが始まるなど、大規模イベントが各地で増えます。屋外でも人との距離が保てない場合や会話をする際は、マスク着用が必要です。適切に感染対策を続けてください。

新規感染者数の平均は、札幌が前週比37.9%減の428.9人、

札幌以外が同36.3%減の585.3人でした。市中感染の広がりを出す感染経路不明者は札幌が同36.5%減の207.9人、札幌以外は同34.5%減の266.4人でした。非常に安定したペースで減少しています。

感染者1人が何人に感染させるかを示す「実効再生産数」は、感染拡大の分岐点となる「1」を下回り、0.8前後で推移しています。PCR検査の陽性率も道内でおおむね10%台まで下がりました。こうした数値を総合的にみると、今のところ減少は順調です。

心配なのは大規模イベント開催の影響です。YOSAKOIソーラン祭りは屋外で開かれますが、イベントに関連して複数の人が地域をまたいで移動し、各地で接触が増えれば、感染拡大のリスクは高まります。

イベント開催に伴い、多数の人と飲食する機会が屋内外を問わずに増えることも予想されます。こうした時にこそ、一人一人が基本的な感染対策を怠らないことが大切です。人と会話する時はマスクを着用し、施設を出入りする際には忘れずに手指をアルコール消毒するなど、いま一度、感染対策を徹底しましょう。

道内では5日に、米ノバックス製の新型コロナワクチン接種が始まりました。これまでのワクチンとタイプが異なり、副反応が出る割合は低い一方、発症予防効果はほぼ変わらないとされています。副反応を懸念して3回目の接種を見送っていた人や、アレルギー反応で打てなかった人も、身を守る選択肢が増えます。感染防止はもちろん、安心感にもつながると期待しています。(聞き手・田鍋里奈)